

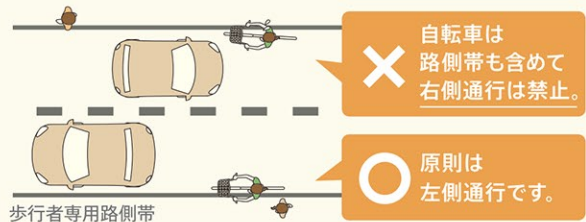
「安心・安全」のために私たちができること。

● 交通ルールを守りましょう。

自転車事故の原因の7割以上がルール違反です。交通事故を防ぐため、交通ルールを守りましょう。



いきなり飛び出さず、安全を十分確かめ、速度を落として走行しましょう。



歩行者専用路側帯

自転車も車両の一種。原則は左側通行です。右側通行は法律違反になります。



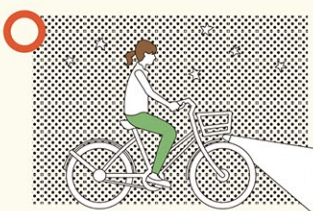
ながら運転は、事故に遭ったり、歩行者にぶつかったり、危険です。



イヤホンやヘッドホンで音楽を聞きながらの運転は危険です。



2人乗りは法律で禁止されています。



夜間、自転車で道路を走るときは前照灯を点けてください。



傘をさしながらの走行は大変危険です。



他の自転車と横に並んで走るのは歩行者や車両の妨げになります。

Topics

平成27年6月1日から改正道路交通法の施行に伴い、自転車運転中に上記のような危険なルール違反を繰り返すと、「自転車運転者講習の対象」になります。

● 定期点検とメンテナンスをしましょう。

メンテナンス不足によって、不具合が発生し、事故につながる可能性があります。

ギヤ・チェーンの摩耗



上図のギヤ類やチェーンが摩耗すると(特に上図の赤いギヤ)、チェーンが外れ、転倒事故につながります。

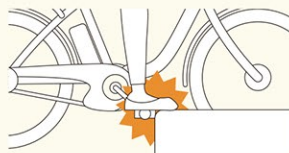
衝突や段差乗り上げによるフォークの変形



衝突や段差乗り上げにより、フォークの強度が低下したり、変形し、そのまま使用を続けると上記原因で転倒事故につながります。外観上異常がなくても、お近くの販売店で点検を実施してください。

ペダル、クランクへの衝撃による駆動ユニットの故障

ペダル、クランクへの衝撃が駆動ユニットに伝わり、トルクセンサーが故障し、正常なアシストが働かないことがあります。



水没、豪雨による電装部品の故障

水没や豪雨による浸水で、バッテリーやモーターが正常に動作しなくなることがあります。水没や豪雨時に駐輪場に放置していた場合、電源を入れず、お近くの販売店で点検を実施してください。



定期点検・整備が受けられるお店での購入をお勧めします。

初期点検

お買上げ後100km到達時
または2ヵ月以内

2回目

お買上げ後
6ヵ月以内

3回目

お買上げ後
12ヵ月以内

4回目以降

お買上げ後
6ヵ月毎



警告

- 定期点検を受けないと、異常や故障の発見が遅れ、事故の原因となります。
- ブレーキワイヤや変速ワイヤは異常がなくても2年ごとの交換が必要です。
- 擦り減ったブレーキシュー、タイヤでの走行は危険です。

チェーンやギヤの駆動部品、ブレーキ部品はご使用頻度により経年劣化します。

